

会 議 開 催 結 果

1 会議の名称	令和6年度 第3回砥部町子ども・子育て支援会議
2 開催日時	令和7年3月6日（木）午後3時～午後3時38分
3 開催場所	砥部町中央公民館 2階 会議室1
4 審議等事項	(1) 第3期砥部町子ども・子育て支援事業計画（最終案）について (2) その他
5 出席者	【出席委員】12人 本多 肇、二神 和徳、竹原 麻琴、村上 明子、 安原 優子、則友 美紀、近藤 富美、天野 沙耶花、 福見 早苗、大野 孝一、白形 理恵、堀江 直美 【欠席委員】1人 秋本 康富 【事務局】7名 岩田 恵子（保険健康課長） 伊達 定真（学校教育課長） 堀 潤一郎（子育て支援課長） 中山 晃志（子育て支援課長補佐） 東 勝之（子育て支援課 保育幼稚園係長） 住田 江里子（子育て支援課 子育て支援センター係長） 佐川 達哉（子育て支援課 子ども福祉係長） (株)ジャパンインターナショナル総合研究所 2名
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴人数	なし
9 所管課	子育て支援課 子ども福祉係 電話 089-962-6299

発言者	発言内容
	1 開 会 2 会長・副会長選出 3 会長あいさつ 4 議 事 <u>【議題（1）第3期砥部町子ども・子育て支援事業計画（最終案）について】</u>
会長	議題（1）第3期砥部町子ども・子育て支援事業計画（最終案）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	議題（1）第3期砥部町子ども・子育て支援事業計画（最終案）について、資料に基づき説明
会長	事務局からの説明が終わりましたが、質問はありませんか。
委員	P12のアンケート結果で「砥部児童館、麻生児童館」の利用経験が、前回より20ポイント増加しています。子どもの居場所づくりをする中で、望ましいことだと思います。近く子どもであれば、保護者なしでも行くことができる。宮内にも早く児童館ができてほしいと思います。放課後児童クラブを利用しない子どもや、障がいのある子どもも過ごせる。ニーズがあるから利用が増加しているのでしょうし、好ましいことです。
事務局	子育て支援課でも、子どもの居場所の確保は喫緊の課題だと認識しております。新しくつくるには財源など慎重に考えなければいけませんが、そこまで悠長に待てる問題でもありません。公民館の空きスペースや現在使われていないスペースがあれば、そこを利用して、子どもたちが遊んだり学習したりして過ごせる場所を、できるだけ多く見つけていこうと考えています。最終的には、それぞれの地区に児童館を設置し、いつでも利用できて、世代間を越えて交流できる場にしたいと考えています。
委員	児童館に関連して、意見をよろしいでしょうか。 麻生地区の小学校4年生の保護者から、放課後児童クラブに落ちて困っていると話を聞いています。子どもを預けられないとなると、学校が終わる時間に仕事を切り上げて帰らないといけなくなり、収入が減って立ち行かなくなると。小学校4年生以降は点数が下がると聞いていますが、働くお母さんは増えています。安心して子どもを預けられる場所がないからといって、家に一人で子どもを留守番させることも不安な時代になりました。学校から麻生児童館までは歩いて行けるから、麻生児童館で待ってもらおうことを考えていると話していました。 ところが先日、休日に児童館に行くと、職員さんに「今日はこれから児

事務局	児童館を閉めます」と言われました。放課後の子どもの居場所になる児童館ですが、開いていない場合があると知りました。 私は宮内地区に住んでおり、児童館がありません。子どもが次は小学2年生で、放課後児童クラブには一応入れました。しかし、これから3年生、4年生と学年が上がって、児童クラブに落ちた場合は、子どもや自分の働き方をどうするべきかと不安です。子どもが安心して過ごせる場所を考えていただけたらと思います。 麻生の小学校の児童クラブは、23名ほど受け入れられませんでした。今回、麻生は定員110名に対し、156、7名の応募がございました。放課後児童クラブには1人あたりの面積基準があり、定員は面積基準にゆとりをもたせて設定しています。そこで、面積のゆとりをなくして基準ギリギリにして、定員超過で130人は受け入れました。本来であれば50名近くが待機になる状況でしたが、特に困っている1年生から3年生の子どもまでは受け入れようと、調整に努めました。それでも面積、場所が足りずに、やむを得ず23名の待機が出たという状況です。 今回の事態を分析しますと、出生数はどんどん減少していますが、今年度は麻生地区で住宅の造成が進んでいました。その影響を受けたものと考えられます。次の令和8年度の1年生は減る見込みです。しかし今後、同じように待機が出てしまうのであれば、費用の捻出やニーズを慎重に検討しながら対処に取り組まないといけません。児童館にもキャパシティの問題がありますから、子どもの居場所について、子どもが行ける近くの場所を探して検討します。 麻生児童館が1日お休みしたという先ほどの話ですが、こちらは非常にイレギュラーです。実はあの日、全国の児童館の大会が松山市で開催されておりました。それでも開館する予定でしたが、やむを得ない事情で出勤できない職員が出まして、致し方なく休館になりました。少なくとも今年度で初めてのことです。麻生児童館は月曜日が休館日ですが、それ以外の日は基本的に開けております。今回は日曜日だったことも重なり、代替りの人員を手配できませんでした。あらかじめ欠員がわかっていたれば、町職員もいますから、人員を確保して、今後はこのようなことがないように努めます。
委員	面積が足りないということですが、空き教室は利用できないのでしょうか。
事務局	こちらでも最初に検討しましたが、麻生小学校側もほかで使いたいということで、空きがありませんでした。私どもで別の場所を確保するしかない状況です。
委員	概要版P2のグラフですが、数値の変動がわかりにくいです。総人口の推移だと、令和2年から3年の間に700人くらい減っていますが、グラフで伝わりにくいと思いました。
事務局	事務局でも同様の意見は出たのですが、ページ数を増やせないため、グラフ用のスペースを広く取れません。波線を入れるなど、見やすくな

	るように何かしらの方法を検討します。
会長	今回が最終の会議となります。気になることはありませんか。よろしいでしょうか。 こちらの最終案を承認していただける方は、挙手をお願いします。 (全員、挙手) ありがとうございます。 なお、今後、誤字脱字など軽微な修正があるかもしれませんが、その際の対応は事務局及び会長の私にご一任いただきたいと思います。 【議題（２）その他】
会長	議題（２）その他について、何かご意見・ご質問等ございませんか。
委員	来年度の保育所の待機状況を教えてください。 本日の午前中も「びよびよ広場」という事業をやっていたのですが、「保育所に入れるだろうか」「年度途中の入所はどのようなだろうか」といった話題が、ここ数か月の間ずっと続いております。
事務局	全ての方の第１希望を叶えることはできませんでしたが、今のところは待機ゼロとなっております。皆様には入園準備を進めていただいております。
委員	４月時点では待機ゼロということですが、年度途中で申し込む方がたくさんいらっしゃいます。年度途中の申込みを控えているお母さん方から、いつ発表があり、審査があるのかと聞かれます。１か月前の最初の週に審査があり、２週目あたりに通知があつてと、お母さん方と確認していたところです。 職場復帰の日が決まっているのに、その前月の頭に審査と発表があり、３週間ほどの間にどうするかを決めないといけない状況らしく、お母さん方は焦っている様子です。年度途中の待機状況を聞きたいです。
事務局	４月の申込みは、今年度は昨年より少し早く、１２月末までが申込み期限となっていました。５月以降については、希望月の前々月の末日までと申込み期限を随時設けております。このような事務の流れですので、随時の期限より前に結果をお伝えするのが難しい。育休復帰などで早く答えを知りたい方はやきもきされると思うのですが、幅広く申込みを受け付けている都合上、申し訳ありませんがご理解いただけたらと思います。
委員	保育所の空き状況について、「この園は既に空きがありません」といった情報の「見える化」ができないものでしょうか。第１希望から第３希望まで書けるのは嬉しいですが、入ってみないとよくわからない部分もあります。実際に利用したお母さんから見た園の良さなど、コメントで見えると嬉しいです。というのは、今通っている園の良さを、次のお母さん方に知ってほしいからです。

事務局	長男が砥部こども園から宮内保育所と、今はアイグラン宮内で民間も体験し、それぞれの園にそれぞれの良さがありました。働き方の希望に応じた園選びの基準が見えてきたので、次のお母さん方に伝えたいのですが、会う機会がありません。意見を書き込むなどでどこかに残し、お母さん方の園選びに役立ててほしいです。 砥部はぎゅっと詰まっており、車であればどの園でも通いやすいというメリットがあります。「すぐに職場復帰するため、空き状況に応じて第1希望を変更したい」といったお母さんの意見もあります。職場復帰を考慮して計画的に産むなどは不可能ですし、生まれた月で保育所に入れる・入れないが決まってしまうと困ります。見える化のような、お母さんたちが安心して子どもを育て、職場復帰ができる仕組みをお願いします。 空き状況の見える化については、ホームページ等に掲載するなど、方法を検討したいと思います。園の評判については、私は言える立場にないので、お母さん方がコミュニケーションを取れる場を提供し、その中で情報交換をできればいいのかなと思います。
委員	園の評価をしたい訳ではありませんが、それぞれの園の「ここがよかった」を広めたいです。良さをアピールして、興味をもってほしい。いい園なのに、1歳児は定員が埋まっていますが、ほかの年齢は定員割れしているようです。良さを伝えられれば松山市あたりから移住して、人口が増えるといいなと思います。
委員	今回は「第3期」の計画ですが、「第4期」はありますか。 というのも、今回、未就学児のアンケートが半分も戻ってきていませんでした。アンケートをとって計画に生かすのであれば、回答数は多いほうがいいですね。次回またアンケートがあるのであれば、紙媒体でなくWEBになっているかもしれませんが、回収率が上がるようにもっと声掛けをしたいと思います。
事務局	現状ですと、「こども計画」が国で始まっていますので、どこかのタイミングでこちらの策定に切り替えると思われます。子ども・子育て支援事業計画を内包した大きな計画です。まだ決まっています。切り替えとなれば、5年以内の策定もあり得ます。 その他意見無し 議事終了 会議終了 【15:38 閉会】